

これからの太陽光発電は“売電”より“充電”が経済的!



「グリーンモード」で貯めて使う暮らしへ

ご存知
ですか?

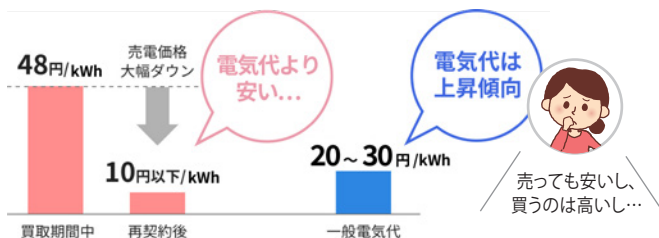
10年間の高価買取期間が終了します

2009年から始まった固定価格買取制度 (FIT) で
太陽光発電を高く売電できた期間が2019年以降順次終了しています。



売電を続けると損に...!?

新たに電力会社や電気買取業者と契約すれば、
余った電気を売ることはできますが、今の1/5程度の
価格に。一方で、電気代は上昇傾向にあります。

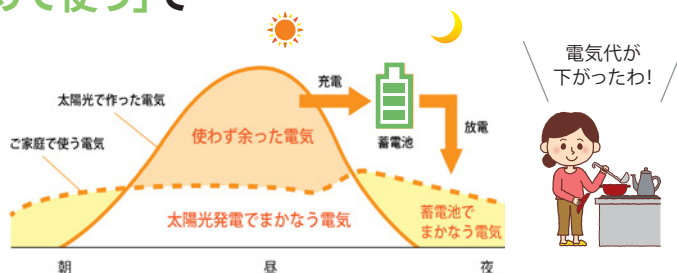


➡ 昼間の発電の余りを売電に回されてきた(経済モードでの運用)場合は、モード変更がおすすめです。

これからは

発電の余りは、売るよりも「貯めて使う」で 買電を抑えるのがおトク!

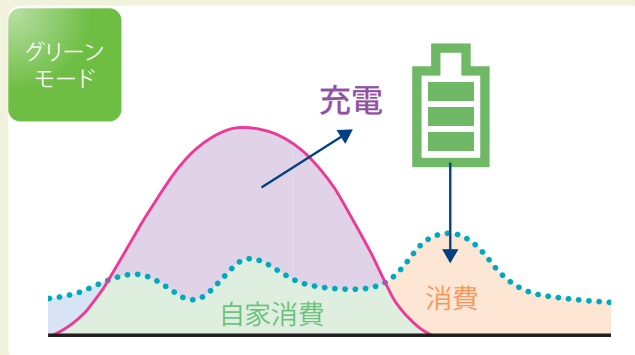
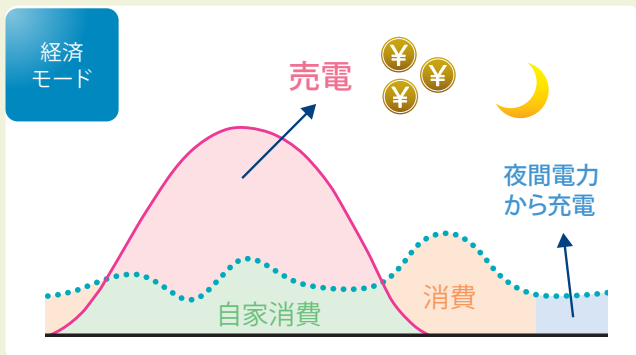
発電で余った電気は売らずに蓄電池に貯めておけば、
夜必要な時に使うことができ、電気代を削減。安い価格で
売電するよりも、高い電気代の購入を抑えた方が経済的です。



買取期間の満了を迎えたら、グリーンモードへの切り替えがオススメです

「経済モード」から「グリーンモード」へ変更してください

経済モードでは発電の余り分を売電することを優先しますが、グリーンモードでは充電を優先します。



モード切替方法は裏面でご紹介します



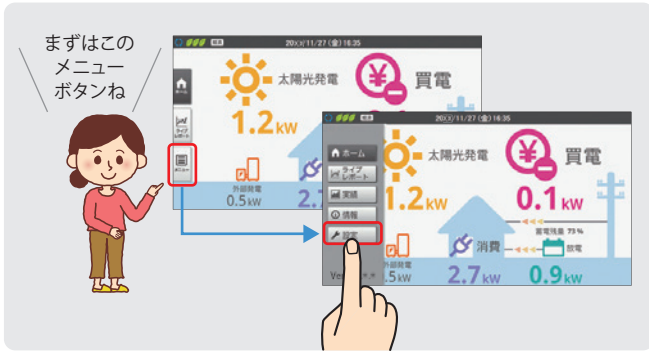
すぐできる!

グリーンモードへの切替 〈KP55S/KP48S2シリーズの場合〉

蓄電システムをグリーンモードに変更したい場合は、専用表示ユニット KP-MU1B-D を操作します。



1 ホーム画面で「メニュー」を選び、
続いて「設定」を選んでください。



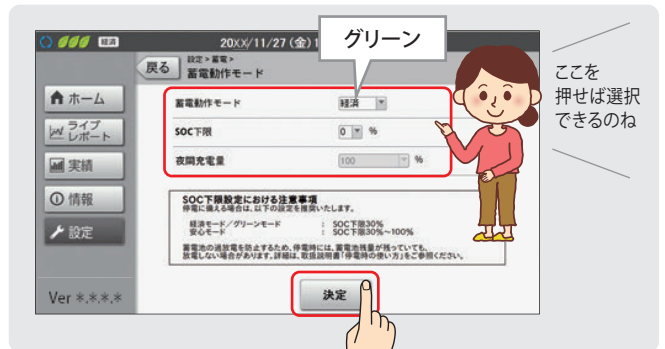
2 「蓄電」を選んでください。



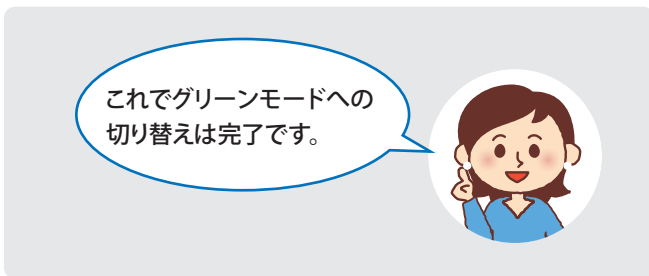
3 「蓄電動作モード」を選んでください。



4 蓄電動作モードを「グリーン」に変更して、「決定」を選んでください。



5 「OK」ボタンが表示されるので押してください。



※必要に応じて、「SOC下限(*)」と「夜間充電量(*)」も変更してください。

(*)・SOC下限... 停電に備えて常に残しておく蓄電残量 = 「ここまでは使う量」のことで、
[設定範囲]グリーンモード：0~30% (初期値0%)

・夜間充電量... 夜間に電力会社様の電気で充電する量 = 「寝ている間に貯める量」のことで、
[設定範囲]グリーンモード：夜間充電なし/10~50% (初期値 夜間充電なし)

「SOC下限」「SOC上限」の設定方法は「取扱説明書(専用表示ユニット編)」をご参照下さい。



詳細につきましては、
オムロンHPのQ&Aのページでもご紹介しています
<http://www.faq.energy-innovation.omron.co.jp/faq/show/8419>

スマホはこちら

